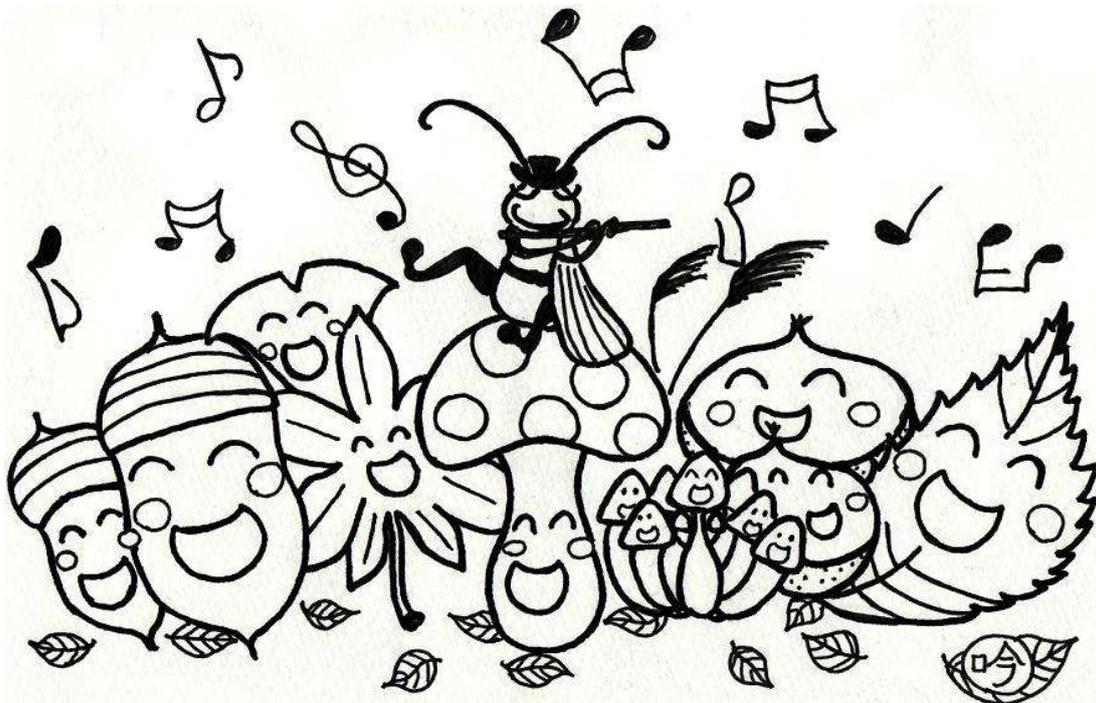


SSKO

社会福祉法人 はらからの家福祉会

# われら同胞

No.35



☆☆☆ 目次 ☆☆☆

- 2 P 巻頭言
- 3 P 第27回精神保健福祉講座
- 4 P 社会福祉法人はらからの家福祉会財産目録
- 5 P 社会福祉法人はらからの家福祉会財産目録
- 6 P 賛助会コーナー

# 精神科入院医療に関する改革の方向

理事 総合施設長 伊澤雄一

なにかと課題の多い精神科医療です。現状では約1600の単科病院に35万ベッド、それを支える財政フレーム約1兆5000億円という世界に類を見ないほどに肥大化したわが国の精神科入院医療の実態があります。ちなみに全世界の総精神科病床は162万ベッドといわれており、つまりわが国にはその2割を超える数のベッドがあることとなります。

さらに病状は安定しても地域に戻れず長期に亘る入院を余儀なくされている人たちが多く(社会的入院)、これも大きな問題として長年指摘され続けています。

また入院制度に関しては、精神科の場合に本人意思に拠ら

ない(非自発的)力づくの入院が合法化されており、その中で特に、保護者の同意による入院(医療保護入院といえます)は保護者の重い責任による重圧はもとより、親子関係に亀裂を生じさせたり、精神障害者は保護者がいないと何もできない人と言う世間の視線を温存させる原因ともいえ、古くからその見直しが求められていました。

こうした精神科の入院医療体制や制度に関する諸課題に対して国はようやくメスを入れてきており、来年度からは医療の在り方や病棟内の体制、さらに入院制度の改変が行われる運びです。背景として今政権のもとにできた制度改革推進

本部(時の総理大臣が本部長)が昨年6月に発した「改革の要点」の中の精神科医療改革があり、その中身として①病棟の機能分化・強化と退院促進、②入院制度に関しては、「保護者制度」を廃止していくという、今までの負の歴史にピリオドを打つ画期的な内容が打ち出され、この間いくつかのレベルにおける国主催の検討会での議論を経てその内容が明らかになってきました。

病棟の機能分化・強化については、長年つづいた精神科だけでは他の診療科目よりも少ない職員配置で良しとする、医療法にある「精神科特例」を廃止し、医師や看護師の配置基準を他科と同等の配置に引き上げつ

つ、退院に照準を当てた人員配置とすべく、精神保健福祉士や作業療法士等が病棟の中で、その人の退院準備を支援する形が取られることとなります。そして入院制度に関しては、医療保護入院の保護者制度を抜本的に改め、医師判断に拠る入院とし、患者さん自身が選んだ「代弁者」や外部の支援者が定期的に患者さんの状態を把握し、早期退院につなげるというものに変わります。

こうした改革が(政権が今後どのようなふうとも)政策としてぶれることなく進むよう、祈るような思いで「地域移行・退院支援」に取り組んでいる今日この頃です。



社会福祉法人はらからの家福社会

**財 産 目 録**

平成24年3月31日現在

**I 資産の部 No.1**

(単位:円)

科 目	摘 要	金 額
<b>1.社会福祉事業 (流動資産)</b>		
現金預金	小口現金	316,367
	多摩信金/国分寺支店 普通	32,929,170
前払金	未経過分賠償責任保険料他	326,390
未収金	差額補助金他	10,201,669
<b>流 動 資 産 合 計</b>		<b>43,773,596</b>
<b>(固定資産)</b> 【基本財産】		
建 物	東京都国分寺市南町三丁目2762番地40及び2762番地41所在 鉄筋コンクリート造陸屋根地上3階建 323.40㎡	58,269,260
土 地	東京都国分寺市南町三丁目2762番地40 宅地 104.85㎡	47,182,500
	東京都国分寺市南町三丁目2762番地41 宅地 53.59㎡	13,129,550
<b>基 本 財 産 合 計</b>		<b>118,581,310</b>
<b>(その他の固定資産)</b>		
建 物	保管倉庫・自動火災報知機	970,429
構 築 物	舗 装	401,585
車 輛 運 搬 具	トヨタ シエンタ	339,426
器 具 及 び 備 品	冷蔵庫・テレビ・パソコン他	1,152,610
権 利	電話加入権	394,700
そ の 他 の 積 立 預 金	長期預り金特定預金	2,700,000
そ の 他 固 定 資 産	出資証券 多摩信用金庫 共済会退職金預け金	6,606,790
<b>そ の 他 の 固 定 資 産 合 計</b>		<b>12,565,540</b>
<b>固 定 資 産 合 計</b>		<b>131,146,850</b>
<b>社 会 福 祉 事 業 用 資 産 合 計</b>		<b>174,920,446</b>

**I 資産の部 No.2**

科 目	摘 要	金 額
<b>2.公益事業(作業所) (流動資産)</b>		
現金預金	小口現金	53,464
	多摩信金/国分寺支店 普通	3,547,276
未収金	3月分職員出向料金	2,377,761
前払金	未経過分自動車保険料他	369,053
<b>流 動 資 産 合 計</b>		<b>6,347,554</b>
<b>固定資産 (その他固定資産)</b>		
建 物	保管倉庫他	13,630
機 械 及 び 装 置	スチームコンベクション他	85,174
車 輛 運 搬 具	スズキエブリー・スバルサンバ他	2,097,813
器 具 及 び 備 品	冷蔵庫・パソコン他	401,741
権 利	電話加入権	236,820
そ の 他 固 定 資 産	共済会退職金預け金	5,823,010
<b>そ の 他 固 定 資 産 合 計</b>		<b>8,658,188</b>
<b>固 定 資 産 合 計</b>		<b>8,658,188</b>
<b>公 益 事 業 ( 作 業 所 ) 用 資 産 合 計</b>		<b>15,005,742</b>

<b>3.公益事業(退院促進・ショートステイ) (流動資産)</b>		
現金預金	多摩信金/国分寺支店 普通	1,058,749
未収金	事業費収入	256,760
<b>流 動 資 産 合 計</b>		<b>1,315,509</b>
<b>公 益 事 業 用 資 産 合 計</b>		<b>1,315,509</b>

<b>4. 収益事業(放置自転車撤去)</b> <b>(流動資産)</b>		
現金預金	多摩信金/国分寺支店 普通	1,055,357
未収金	放置自転車撤去委託料収入	520,000
前払金	未経過分総合賠償責任保険料	4,254
<b>流動資産合計</b>		<b>1,579,611</b>
<b>固定資産</b> <b>(その他固定資産)</b>		
車輛運搬具	小型貨物車ダイナ	772,344
その他固定資産	駐車場保証金	50,000
<b>その他固定資産合計</b>		<b>822,344</b>
<b>固定資産合計</b>		<b>822,344</b>
<b>収益事業用資産合計</b>		<b>2,401,955</b>
<b>資産合計</b>		<b>193,643,652</b>

**II 負債の部**

科目	摘要	金額
<b>1. 社会福祉事業</b> <b>(流動負債)</b>		
未払金	3月分社会保険料他	1,305,022
預り金	2月分社会保険料	436,926
賞与引当金	賞与引当金	3,061,977
<b>流動負債合計</b>		<b>4,803,925</b>
<b>(固定負債)</b>		
設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構 多摩信用金庫	5,640,000 8,400,000
退職給与引当金	退職給与引当金	4,363,290
長期預り金	利用者敷金	2,700,000
<b>固定負債合計</b>		<b>21,103,290</b>
<b>社会福祉事業用負債合計</b>		<b>25,907,215</b>
<b>2. 公益事業(作業所)</b> <b>(流動負債)</b>		
未払金	3月分社会保険料・利用者交通費返還分	1,824,767
預り金	2月分社会保険料	227,956
賞与引当金	賞与引当金	2,473,223
<b>流動負債合計</b>		<b>4,525,946</b>
<b>(固定負債)</b>		
退職給与引当金	退職給与引当金	2,800,510
<b>固定負債合計</b>		<b>2,800,510</b>
<b>公益事業(作業所)用負債合計</b>		<b>7,326,456</b>
<b>流動負債合計</b>		<b>7,326,456</b>
<b>収益事業用負債合計</b>		<b>0</b>
<b>負債合計</b>		<b>33,233,671</b>
<b>差引純資産</b>		<b>160,409,981</b>

上記は財産目録の原本と相違ないことを証する。

社会福祉法人はらからの家福祉会  
理事長 須長 靖夫

## 第27回精神保健福祉講座

日本では、成田空港管制塔が占拠され、キャンディーズが普通の女の子に戻り、江川卓の空白の一日騒動で揺れていた1978年、イタリアでは画期的な法律180号が成立しました。



今回の精神保健福祉講座では、「むかし Matto の町があった」というイタリア映画を上映いたします。イタリア語の Matto は狂気をもつ人、「Matto の町」は精神病院を指します。この映画のタイトル通り、イタリアではかつて精神科医療の中心であった公立精神病院は、いまや姿を消し、もはや存在しません。のちにバザーリア法とも呼ばれる法律180号によって、新規入院は禁止され、地域で予防、治療、アフターケアを一貫して行う新精神保健システムの導入とともに、20年をかけてすべての精神病院を閉鎖しました。

2010年にイタリア国営放送が制作放送したこの映画は、法律成立の原動力となった医師フランコ・バザーリアの改革の軌跡を追いつつ、入院患者であった人々や医療スタッフたちによって織り成される苦悩と喜び、理想と現実、失敗や挫折そして希望のドラマを実話に基づいて描いています。人間の可能性を信じることの素晴らしさを感じさせて

くれるこの映画は、イタリアでの放送時には21%の高視聴率をたたき出しました。日本では、有志による“180人のMATTOの会”が日本語字幕を制作し、全国各地で自主上映会を行っています。当日、いずみホールでこの感動を皆さんと共有することを楽しみにしています。イタリアでは、かつて病院だった建物は、現在、ホテルやレストラン、図書館や保育園などに転用されているそうです。あの病院もホテルになったら、いいのになーと思いつつ……。

社会福祉法人 はらからの家福祉会 副理事長

藤田 英親

**日 時：平成24年12月14日（金） 17：30～21：30**

会 場：国分寺市立いずみホール（Aホール） 東京都国分寺市泉町三丁目36番12号

映画上映会：「むかしMattoの町があった」

資 料 代：1,000円（別紙申込書有）

500円（中学生、障害者手帳所持者）

一部暴力的・性的表現があるため、小学生以下の鑑賞をお断りします。

主 催：社会福祉法人 はらからの家福祉会

バザーリア映画を自主上映する180人のMattoの会

協 賛：国分寺あゆみ会

国分寺すずかけ心療クリニック

後 援：社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会 他



問い合わせ先：社会福祉法人 はらからの家福祉会 担当 塚田 立石 奥澤

☎ 042-323-5637

# はらからの家福社会賛助会コーナー

はらからの家福社会賛助会は、社会福祉法人はらからの家福社会の運営の維持・発展のために支援・協力することを目的として、主に財政的支援・協力の活動を行っています。

当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間1口2千円からで何口でも可能です。会員の皆様には「われら同胞(本誌)」を送付しているほか、年に一度懇談会を開催し、会計報告・活動報告を行っております。皆様の会費は毎年取りまとめてはらからの家福社会に寄付させていただきます。

入会を希望される方は、下記口座に会費をお振込ください(同封の振込用紙も使えます。)

郵便振替口座番号

**00180-8-130179**

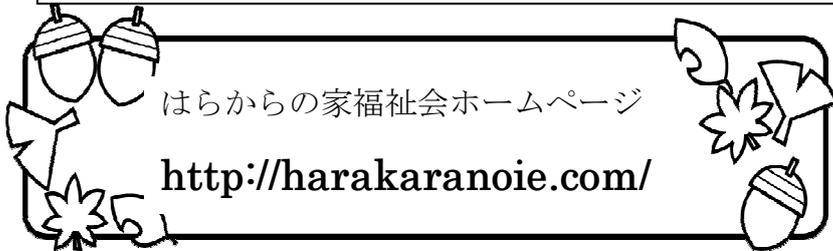
加入者名：はらからの家福社会賛助会

会費を納入いただいた方の名前を本誌に掲載させていただきます。匿名希望の方はその旨通信欄にお書きください。



## <平成24年度4月から7月の間に賛助会費をご納入頂いた皆様(順不同 敬称略)>

浅田 基夫	石井 正義	石倉 菊子	伊藤 孝子	伊藤 義明	上原 早苗	植村 雅子	内山 新也
岡本 公子	小川 好秀	加藤 初江	金子 鮎子	窪田 恭	熊谷 禮子	小峯 尚三	坂田 晴弘
佐藤 佳子	佐藤 文顕	佐藤 時代	清水 美子	正田 久子	鈴木 一夫	須長 三郎	須長 靖夫
高見 法孝	高山 俊子	辰田 智子	戸部 光榮	中嶋 實	中村 典男	中村 元彦	西村 隆夫
服部 淳子	服部 洋三	濱野 信一	平松 史朗	藤田 綾	藤田 英親	三浦 香織	峯岸 桂一
宮城 伸子	宮澤 紘一	森田 林三	山岸 琴美	山田 正則	横山 隆作	吉田 ユキ	
坂本 瑠璃子	末盛 三枝子	野々瀬 悟子	服部 百合子	福成 恵美子	藤野 利太郎	町田 三代子	
松本 紀久代	湯本 美江子	レタスの会	匿名4名				



はらからの家福社会ホームページ

<http://harakaranoie.com/>



はらからの家福社会賛助会懇談会開催のお知らせ

日時 平成24年10月19日(金)

午後4時～5時半

会場 さつき共同作業所

国分寺市東元町3の4の19

本多ビル一階

今年度の賛助会懇談会を右記日程において開催することになりました。この間のはらからの家福社会の諸活動を把握し、賛助と共に意見を寄せる機会とするためにも、懇談会を開催したいと思えます。平日の夕刻、ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえご出席のほど、なにとぞよろしくお願い致します。

はらからの家福社会賛助会

代表 窪田 恭

### 【編集人】

社会福祉法人はらからの家福社会  
〒185-0021  
東京都国分寺市南町 3-4-4  
TEL 042-323-5637

### 【発行人】

身体障害者団体定期刊行物協会  
〒157-0073  
東京都世田谷区砧 6-26-21

【定 価】 ¥120

## 第27回 精神保健福祉講座

# 参加申込書

本紙と資料代を、当日ご持参ください。

お申し込み先 社会福祉法人 はらからの家福祉会

締め切り 平成24年11月30日(金)

FAX 042-328-3240

お申込み日	平成	年	月	日
おなまえ				
参加枠	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 障害者手帳	<input type="checkbox"/> 中学生	
ご住所				
日中連絡が取れる 電話番号				
所属団体名				

\* 複数人お申し込まれる場合、お一人一枚ずつ送信願います。

\* 障害者手帳所持者の方は障害者手帳を、中学生の方は学生証を、当日ご持参ください。受付で確認させていただきます。

\* 座席数が限られているため、お申込み人数が多数の場合、先着順とさせていただきます。